

平成 30 年度第 1 回国立市特別職職員報酬等審議会 会議録（要約）

日 時 平成 30 年 11 月 27 日（木） 午後 7 時から午後 8 時 15 分まで
場 所 国立市役所 1 階 東臨時事務室
出席委員 8 名 木島委員、阪口委員、杉田委員、田村委員、長沼委員、
林委員、半杭委員、三上委員 ※五十音順
欠席委員 2 名 遠藤委員、喜連委員
傍 聴 0 名
事 務 局 4 名 雨宮行政管理部長、平職員課長、
櫻井人事・人材育成係長、丸山給与厚生係長

次 第 1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 委員自己紹介及び事務局職員紹介
4. 会長互選
5. 諮問
6. 会長挨拶
7. 国立市特別職職員報酬等審議会について
8. 職務代理者指名について
9. 国立市の財政状況及び特別職職員の報酬等状況について
10. その他
今後の審議会開催予定について

【会議録】

1. 委嘱状交付
永見国立市長より出席委員へ委嘱状交付
2. 市長挨拶
永見国立市長挨拶
3. 委員自己紹介及び事務局職員紹介
出席委員 8 名及び事務局職員 4 名の紹介
4. 会長互選
会長選出について、林委員より長沼委員の推薦があり、その後、他の委員の同意を受け、長沼委員に会長決定
5. 諮問
「消防団員報酬額の改定について」
永見国立市長より国立市特別職職員報酬等審議会へ諮問
※諮問文については、別添参照
6. 会長挨拶
長沼会長より就任の挨拶
審議会の傍聴、審議会委員名簿のホームページ上での公表、審議会議録のホームページ上での公表について、出席委員の同意を得て決定

これより、長沼会長による進行

配布資料について事務局より説明

7. 国立市特別職職員報酬等審議会について
国立市特別職職員報酬等審議会の概要や役割について事務局より説明
8. 職務代理者指名について
国立市特別職職員報酬等審議会条例第 5 条に基づき、阪口委員を指名
9. 国立市の財政状況及び特別職職員の報酬等状況について
平成 29 年度国立市決算概況について事務局より説明
常勤及び非常勤の特別職職員の報酬等について、各市の状況と比較しながら事務局より説明

以下、会議詳細

【長沼会長】 国立市の財政状況及び特別職職員の報酬等状況についてでしたが、日頃こういう資料を見慣れておりますとわかるのですが、私たちは見慣れていないもので中々わからないと思います。私も任期ごとにこの資料を見ておりますが、どうもなかなか頭に入っておりません。皆さま、資料について何かご質問等ありますでしょうか。なお、発言の際には、できればお名前を言って頂きますと助かります。いかがでしょうか。

まず、決算概況についてですが、歳入について高い水準と説明がありましたが、高い水準というのは、何らかの基準がないと見えてこないと思いますが、何に基づいて高いということですか。

【丸山係長】 それにつきましては、歳入の推移について、2002年度から記載がありますが、その時と比べて高い水準にあるということです。

【長沼会長】 予算額に対して決算額が高いということですか。

【丸山係長】 そのとおりです。

【長沼会長】 ですから、この数字が高ければ、財政は比較的安定しているということですね。

【丸山係長】 歳入に関しましては、そういうことです。

【長沼会長】 できましたら、そういう説明も付け加えて頂くと助かります。今のところ、国立市の財政という面では黄色信号とか赤信号というわけではありませんが、辺鄙な地域、特に夕張市なんかは、少し財政状況が戻ってききましたが、なかなか大変な状況があります。そういう点では、比較的心配はないといえる状況でしょうか。

【杉田委員】 決算概況の歳入のページで、高額納税法人の減により、法人市民税法人税割が減少したとありますが、これは、国立市にある会社の税金が減ったということですか。

【丸山係長】 そのとおりです。

【杉田委員】 それは固定資産税ですか。

【丸山係長】 法人税になります。

【長沼会長】 それぞれの会社の企業会計が悪化していくと、当然収入が下がるわけで、当然歳入も減るということでしょうね。

【雨宮部長】 少し補足よろしいでしょうか。国立市の場合、良いか悪いか

はありますが、大きな法人の数が多くないという実態があり、法人の経営状況によっては、歳入が高くなったり少なくなったりとばらつく場合があるのですが、そういった部分での影響は少ないと言えます。毎年、法人税の収入は約 6 億円ですが、毎年安定した収入としては入ってきています。

【長沼会長】 歳入全体に占める法人税の比率が少ないのですね。

【雨宮部長】 残念ながら、国立市に大きな法人が少ないといった状況ですが、安定して収入があるといった状況であります。大きな法人からの歳入に頼っていると、行政運営が法人の経営状況によってはがたとしてしまい、行政運営に多大なる影響があると思うのですが、国立市にはそういう部分がない、歳入額としては多くありませんが、比較的安定して入ってきていると言えます。

【長沼会長】 特に府中市あたりですと、東芝の景気が良いか悪いかで随分変わるでしょうね。

【三上委員】 報酬抑制措置について教えてもらえますか。

【丸山係長】 抑制措置につきまして、先ほど平成 27 年から行っていると説明しましたが、これは佐藤前市長の時から掲げておりまして、佐藤前市長が就任しました平成 23 年において、国立市の財政状況が今ほど良くなかったということで、給料額を自ら 15%減らし、これまで継続してきました。また 2 期目の選挙の時にも、給料額の減について掲げ、2 期目の就任後も継続し、永見市長もこれを引き継いでいるといった状況です。

【三上委員】 ずっと継続していくのか。

【丸山係長】 平成 31 年 4 月までの時限条例ですが、その後どうするかは未定でございます。

【木島委員】 15%というのはどのように決まったのですか。

【雨宮部長】 市長の意志ですので、何を抛り所にしていたかというところは、私たちにはわかりかねますが、市長が 15%で、例えば副市長が 10%、教育長がそれよりも下というようにご自身で決められました。

【長沼会長】 確か御本人の発案ですよ。だから議会の中でも、特段の議論はなかったですね。

【杉田委員】 中々自分で下げるとは言えませんからね。

【長沼会長】 そうですよ。

【三上委員】 他市もいろいろ同じようにやっているのですかね。

【長沼会長】 必ずしも他ではやっていないのではないのでしょうか。

【三上委員】 表の下にいくつか記載がありますが。

【長沼会長】 いくつかの市はありますね。

【雨宮部長】 廻りますが、佐藤前市長は就任された時に、ご自身の退職金も廃止にされました。特別職は退職金が出るのですが、自らの発意でなしにしました。

【長沼会長】 佐藤前市長が亡くなったことは、お気の毒に大変残念でありました。他には何かありますか。

【木島委員】 今日の案件とは少し違うのかもかもしれませんが、今後、消防団の報酬額を考える際に、今までの国立市の財政は決算概況で概ね見えるのですが、今後を考える上では、未来に向かった推移がどうであるかわかった方が良いのではという印象を持ったのですが、そのような資料は今後いただけますか。

【雨宮部長】 市では毎年単年度の予算を立てるのですが、それに関連して、実施計画という 4 年間の計画を立てています。その中で、あらゆる状況からみて、歳入歳出の現時点での見込みを立てており、その資料でしたら用意できます。ただし、決算概況のような細かい資料とはなっていない、大きくくりでの歳入歳出規模を示す資料となります。

【木島委員】 私の印象での意見ですので、必要かどうかは皆さんの意見を伺ってということをお願いします。

【林委員】 財政状況が悪かったということで報酬抑制措置をとったということですが、報酬を上げるといった審議をする際に、財政状況が上向きになっている状況があり、今後もそれが見込めるから報酬を上げることができるのか、それとも、ある程度どこかを削らないとできないのか、そういった情報がないと中々判断できず、良いとも言いづらと思います。その点どうでしょうか。

【雨宮部長】 当然そのような視点はあるかと思います。今回、有額諮問という形で、このように報酬を上げるとことを示させて頂いておりますので、そのことを皆様の見識の中で、検討して頂きたいということが一つあります。今回の報酬額の引き上げについては、私たちは平成 31 年度からしていきたいという意向がありますが、予算上は、引上げをしてもやっていけるという前提の下で提出しているのご理解いただければと思います。ただし、皆さまの見識の

中で検討して頂ければと思います。林委員がおっしゃいましたように、今後財政状況が伸びないといった見込みがあった場合に、改定はどうかという議論は委員の皆さまの中でして頂ければと思います。

【長沼会長】 報酬をどれくらいにするかについては、多角的な判断基準がないと難しく、一概に近隣の自治体と比較してもそれが果たして妥当なのかどうか、たとえ平均より低くても、国立市の財政がひっ迫しているのならば、引き上げるわけにはいかない。なので、現在の国立市の財政規模からして、増額が圧迫要因とならないかどうか、また、当然、歳出のところで話が出ましたが、扶助費については減ることはないだろう、セーフティネットに関わる部分ですので、安心安全の観点から下げることはないだろうと考えられます。ですので、扶助費の支出が増えていく中で、報酬の増額が妥当なのかどうかという判断をしなければいけないと思います。また、仕事の責任、量、質からして、報酬額が妥当なものなのか検討する必要があります。昨今、カルロス・ゴーンの問題がありますが、彼の論理では、仕事をグローバルスタンダードの規模でやれば、日本の水準より高くなるという判断であると思います。確かに、仕事の質と報酬は、ある程度リンクさせるものだと思います。そういったときに、いろいろ異なる基準がある中で、それらを総合的に考えないと妥当なところが見えてこないと思います。その辺も皆様には多角的に考えて頂きたいと思います。

【田村委員】 諮問についてですが、団長、副団長から団員までの金額が書かれています。それぞれ現在何名ずついて、報酬額が人件費のどれくらいの割合を占めているのかわかると、判断する材料となっていくのかと思いますので、次回資料として出して頂けたらと思います。

【杉田委員】 私は、消防団をやっていたことがありまして、夜中とか結構出動していました。その時は今のようにスマートフォンもなく、家の電話にかかってきて、火災現場に行くようなこともありました。また、台風の時等も一晩泊まるということもありました。大変なことはありましたが、消防団員としての責務は果たさないといけないという思いで活動していました。現在、消防団員になるという人も中々いない状況で、6分団あって、1分団の定員が19名なのですが、定員に満たないということもあります。昔は1期4年で、大体2期やって終わるというパターンだったのですが、段々できる人が少なくなり、

一人で20年やっている人が多くいます。そういう観点からも、今回報酬を上げた方がよいと思います。また、歳末警戒などで夜警戒しているのですが、放火の抑止効果があり、さらに今後は災害が増える一方ですので、消防団員の役割は重要なものとなってくると思います。

【長沼会長】 ありがとうございます。消防団については、話は聞きますが通り一遍のことしかわからず、実情を教えてくださいと正しい判断材料になると思います。

【阪口委員】 実態を知るためにも、どれくらい出動しているのか、具体的な働きぶりを教えて頂ければと思います。

【平課長】 今、いくつかお話頂きましたが、将来の予算や決算の見込みについてどこまで細かくお出しできるかはありますが、将来を見通すことができるものがあるか探して検討したいと思います。また、消防団員の人数や改定による影響額については示したいと思います。

【長沼会長】 その他、仕事の実態やご苦労がわかるものもお願いします。

【平課長】 ご用意致します。

【三上委員】 年額報酬についての話ですが、それ以外に出る報酬はありますか。

【丸山係長】 年額報酬以外にも、火事があった場合に出動すれば、1回当たり2,900円が手当として支給されます。

【三上委員】 活動の実態やボリュームがわからないので、人数やどれくらいの実働があるか情報提供頂きたいと思います。

【田村委員】 出動以外にも訓練のあるかと思うので、その資料も出してください。

【杉田委員】 現在、6分団でそれぞれ19名いて、それ以外に本団として、団長、副団長、女性団員がいます。女性団員は、主に救護活動や広報活動を担当しています。また、先ほど、火災の出動1回あたり2,900円という話が出ましたが、これは火災出動等が1時間で終わろうが、一晩かかろうが、一律2,900円です。

【長沼会長】 出動して、問題がなく帰ってきた場合でも、ずっと対応していた場合でも、同じ金額ということですか。

【阪口委員】 回数手当てですね。

【木島委員】 防災訓練とかイベントとかあると思いますが、そういう場合も手当は別ですか。そういうことも教えてほしいです。

【長沼委員】 いろいろ面白い視点がありましたので、次回に資料として用意して頂けますと助かります。今日のところは、中々すぐに答申とはいきませんので、次回、資料を踏まえて検討することになるかと思います。他に、皆さん何かありますでしょうか。ないようですので、次回以降の審議会のスケジュールについて考えていきます。事務局お願いします。

【丸山係長】 資料の最後にあります「今後の国立市特別職職員報酬等審議会の開催について」をご覧ください。今後審議をして、答申案を固めていくことになるのですが、第 2 回目の日程につきましては、事務局が皆さまの日程を調整し、決定のご連絡をさせていただきます。今回、皆さまから様々な意見と資料提案がありましたので、次回の時に資料として示した上で、皆さまに深く審議して頂き、年明け 1 月の第 2 週に第 3 回審議会を開催し、答申案を固めていくというスケジュールになります。審議の進行度合いによっては、追加となる可能性もありますが、なるべく 3 回で固めたいと思いますので、皆さまよろしくお願いします。また、諮問事項につきまして、本日資料要求等がございましたが、追加で資料要求等ございましたら、事務局までご連絡下さい。

【平課長】 本日、意見を頂いた資料につきましては、用意でき次第、あらかじめ皆様に送付させていただきます。

【長沼会長】 それはありがたいです。よろしくお願いします。財政状況の見通しは難しいとは思いますが、おそらく今とあまり変わりはなく、収納率の向上等を見込む期待値となると思います。なので、審議にあたっては、それ以外の資料で判断していくことになると思います。

【雨宮部長】 来年は消費税の増率がありますが、それ以外にも今後は幼児教育の無償化という話も出てきています。そして、その財源を国で持つのか市町村で持つのか、比率も決まっていないので、見通しは難しいかと思います。

【長沼会長】 他に何かありますか。ないようですので、それでは、本日の会議は閉会といたします。ありがとうございました。